

安全指導

水遊び時の事故防止

R7. 8. 19

こどもプラス唐津第2教室

まだまだ暑い日が続きますが元気に過ごしていきましょう。さて、令和6年4月1日より児童・保護者に対する安全指導（事業所の生活における安全・災害や事故発生時の対応・交通安全等）保護者様への説明と共有が義務化されました。7月～9月は「水遊び時の事故防止」「熱中症対策」「食中毒予防」となっております。

8月は「水遊び時の事故防止」についてお知らせいたします。

【教室での取り組みについて】

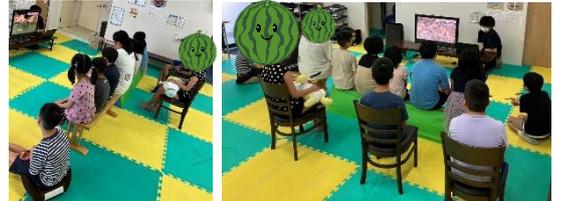
こどもプラスでは、子どもたちがより良い環境で学びや遊びを楽しむために、さまざまな取り組みを行っています。

1. 監視体制の役割

プール活動などの水遊びを行うときには、監視体制の空白が生じないように専ら監視を行うものと指導を行うものに分けて設置し、その役割を明確にしています。

2. 事前学習

事故を未然に防ぐため、プール活動、川遊びに関わるリスクや注意すべきポイントについて、子どもたちが事前に学習する時間を設けています。また、おさらいとしてプールをしていない時にも話をし、水遊びの危険性や職員の話聞く大切さを都度学んでもらいます。



【水遊び時の事故防止について】

1. 走らない

プールサイドは滑りやすくなっている為、転倒する事がないように職員で呼びかけをしています。

2. 話をきちんと聞く

話をきちんと聞いていないと定期的な休憩の時間や帰りの時間に気づく事なくそのままおぼれてしまったりすることがあります。そのような事が無いように職員で見守りをしています。

3. 勝手な行動はしない

水遊びが好きな児童は多く、職員の話が耳に入らない児童もいます。そのようなことがないように気を付けて見守っていますが、話の途中で遊びを始めたり、自分だけすぐに遊ぼうとしたりしないように伝えていきます。勝手な行動をした場合はクールダウンの時間として休憩所で過ごしてもらっています。

